

ギリシャ

資本主義の野蛮を打倒することはこれまで以上に急務

ギリシャ共産党中央委員会国際関係部

同志諸君、

このところ、われわれの思いは、勇敢なパレスチナ人民とともにある。われわれは、アメリカ合衆国とNATO（北大西洋条約機構）、EU（欧州連合）の支持を得て行なわれている、ガザ地区でのイスラエル占領国家による残忍な軍事攻撃と野蛮な封鎖を非難する。そして、パレスチナ人民とともに、非人道的なイスラエルによる占領を終わらせ、一九六七年の国境を持ち東エルサレムを首都とする独立国家パレスチナを創設するよう訴える。

友人諸君、

われわれは、十月社会主義大革命一〇六周年を記念して組織される諸君の集会をたたえる。十月革命は、歴史上の新しい時代を、社会主義革命と資本主義から社会主義への移行の時代をきりひらき、労働者階級と人民に空前の成果をもたらした。

こんにち、諸人民は、ソビエト連邦と他の社会主義諸国における反革命の結果を悲惨な形で経験している。資本主義は、その歴史的な限界を超えており、さらに反動的で、攻撃的で、危険なものになろうとしている。労働者階級の搾取が激化し、人民の状況がさらに悪化している。諸人民は、戦争地帯を増やすことにより自国独占の利益を求める「欧州大西洋」帝国主義陣営と「ユーラシア」帝国主義陣営の反目の激化による代償を払わされている。

アメリカ合衆国・NATOと資本主義ロシアとの間でウクライナで行なわれている戦争は、ビリニュスでのNATO首脳会議の危険な決定によって強化・拡大されている。独占が勝者となり、ウクライナとロシアの人民は、いずれも敗者となろうとしている。資本主義体制での覇権を求める合衆国と中国の対立は、インド太平洋、アフリカ、中東とペルシヤ湾、バルカン、北極圏にまで広がっている。

ごく最近では、合衆国と韓国、日本が、八月にキャンプデービッドで三か国会談を行ない、朝鮮半島で共同の空軍演習を行なうことに合意した。

十月革命の勝利から一〇六年を経て、資本主義の野蛮を打倒することがこれまで以上に緊急の課題となり、社会主義が必要とされている。レーニンの理論的遺産、社会主義革命と社会主義建設の法則、あらゆるブルジョワ・帝国主義同盟に対する労働者の運動の独立、これらを擁護することは、労働者の革命運動が反撃するための前提条件である。

同志として

【訳＝杉本芳夫】